

2019年10月期 第3四半期 決算補足説明資料



イトフ

東証マザーズ 6049
2019年9月

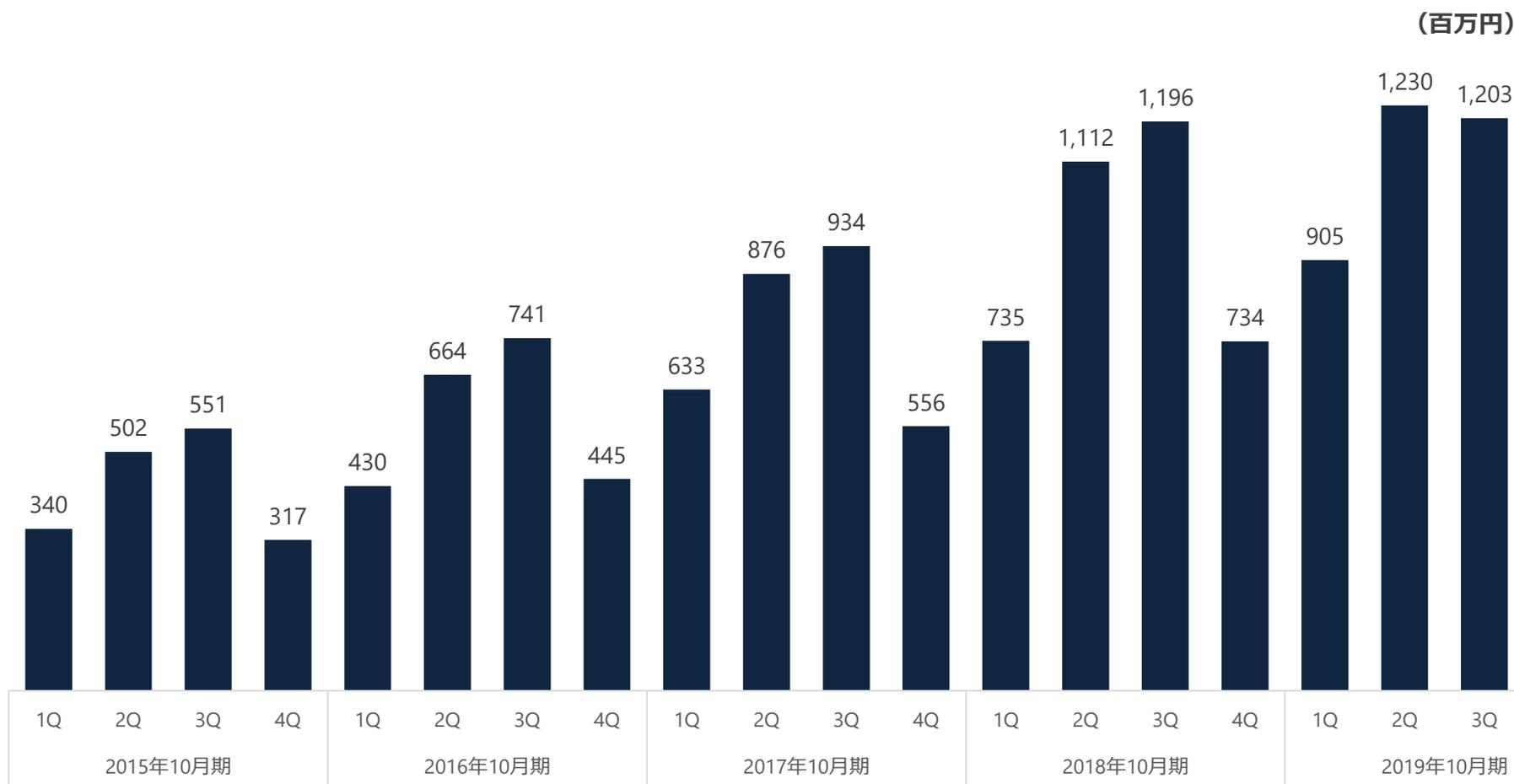
※ 本資料に含まれる数値、指標は、当社の経営成績及び財政状態に関して、適切な理解を促進することを目的として開示しており、すべての数値、指標が監査法人による監査又はレビューの対象ではない点にご留意ください。

営業利益は修正後の業績予想に達しているものの、
計画通り事業成長への投資を遂行するため、業績予想の変更は行わない方針

(単位：百万円)

	2018年10月期 第3四半期累計 (11月-7月)	2019年10月期 第3四半期累計 (11月-7月)	YoY	通期計画	進捗率
売上高	3,609	3,637	+0.8%	4,350	83.6%
営業利益	1,792	1,492	-16.7%	1,400	106.6%
経常利益	1,797	1,504	-16.3%	1,410	106.7%
当期純利益	1,157	969	-16.2%	900	107.7%

2019年第2四半期、第3四半期はCVRの低下により売上高の成長が一時的に鈍化しているが、事業成長トレンドに最も影響するユーザー数は順調に成長しており、大きな成長トレンドには影響ないと考えている（詳細はP.4を参照）



ユーザー数は順調に進捗、CVRは一時的に低下したものの計画通り回復、一人当たり平均資料請求件数についても来期からは上昇する見込み

$$\boxed{\text{塾ナビ売上高}} = \boxed{\overset{1}{\text{ユーザー数}}} \times \boxed{\overset{2}{\text{CVR}_{\ast}}} \times \boxed{\overset{3}{\text{一人当たり平均資料請求件数}_{\ast}}}$$

1
ユーザー数

売上高成長に最も重要なKPIであるユーザー数は順調に成長を継続

2
CVR_※

2019年3月に実施した改修の影響で一時的に低下したものの、再度改修したことで回復

3
一人当たり平均資料請求件数_※

2018年9月より学習塾への入会率を向上させるため戦略的に低下させているが、2019年9月で影響が一巡し、前年同期比100%前後に戻る見込み

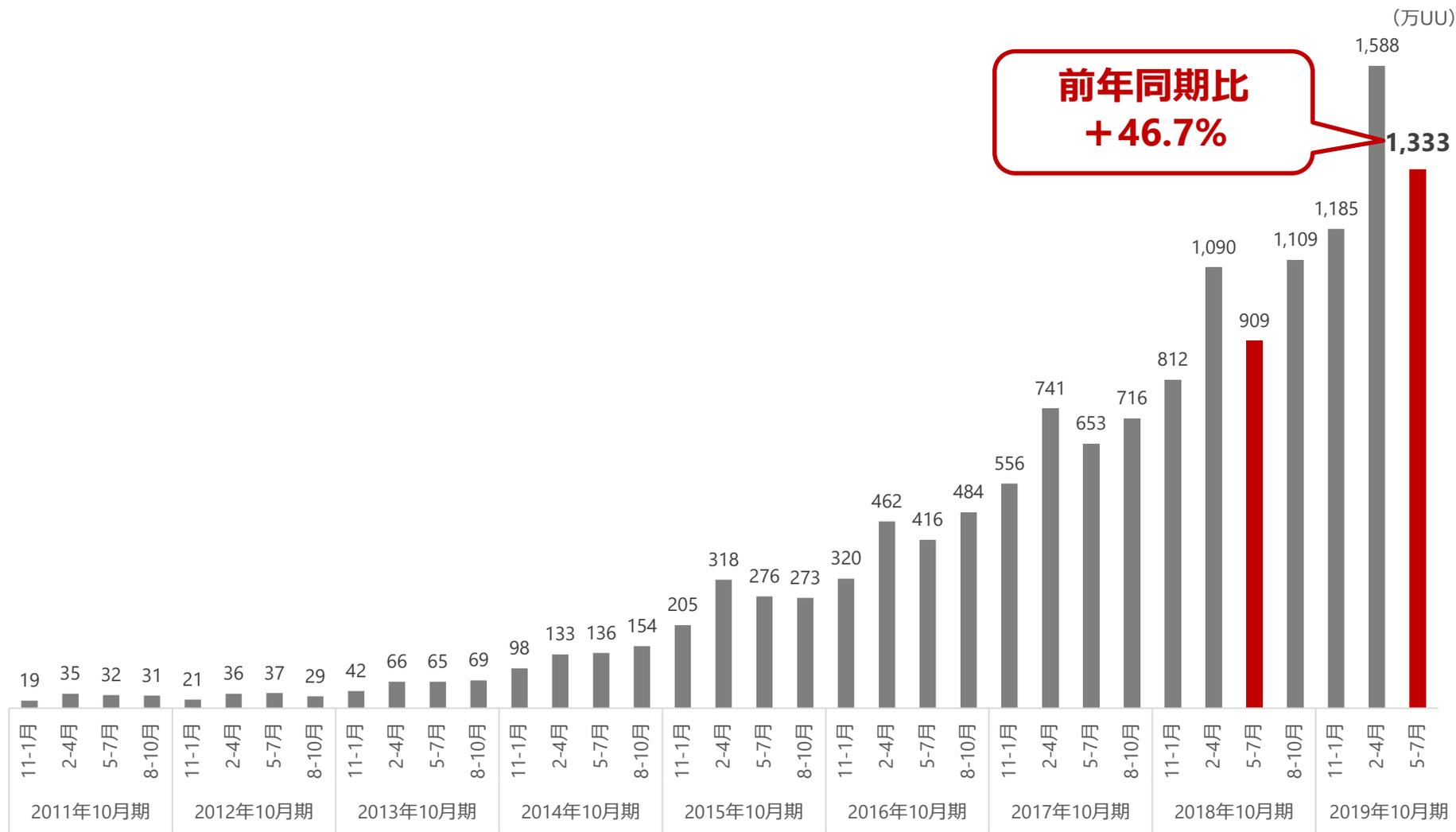
前年同期比
2019年2Q～3Q 2020年1Q以降



※ CVR：（資料請求人数）÷（ユーザー数）で算出

※ 一人当たり平均資料請求件数：（総資料請求件数）÷（資料請求人数）で算出

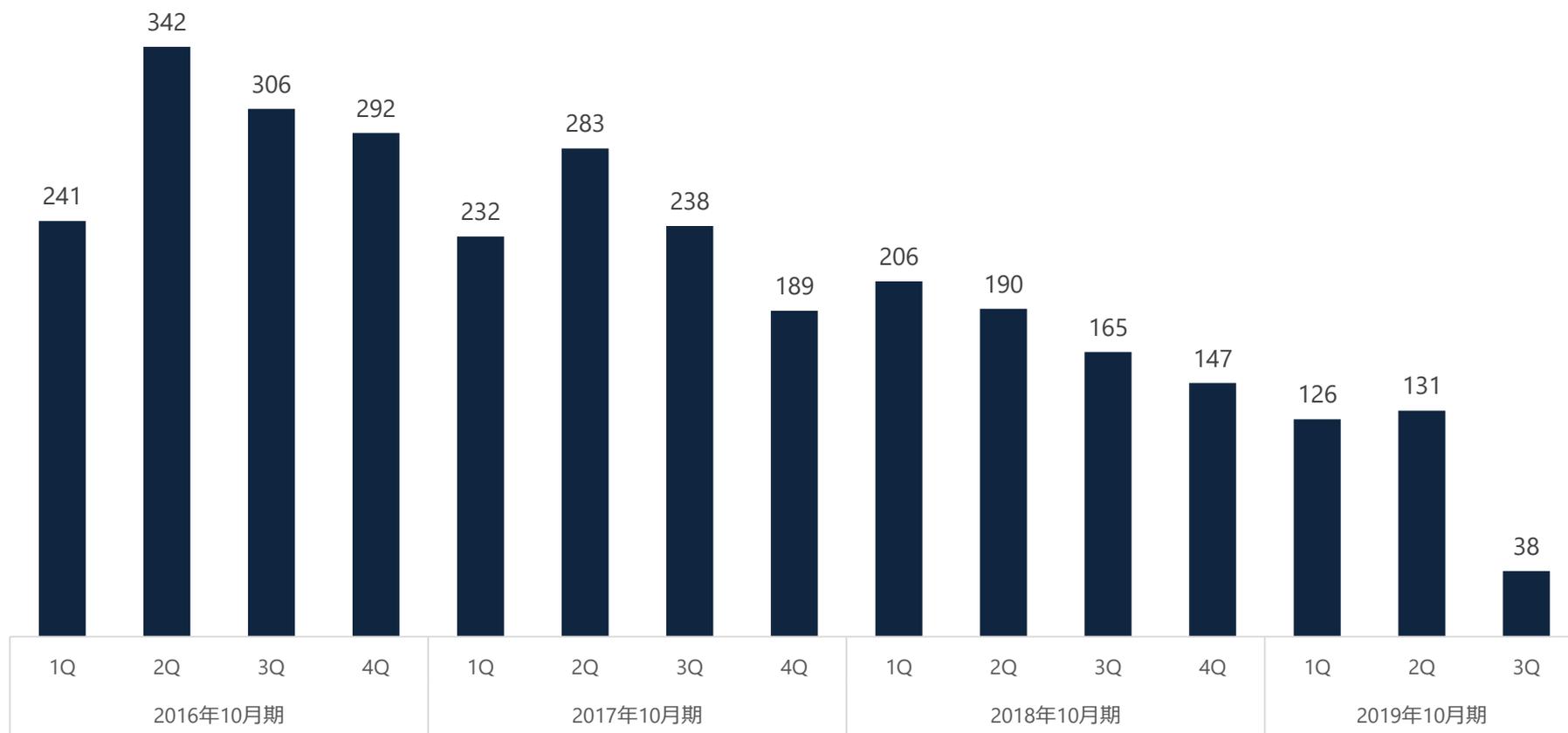
教育メディアサービスの月間ユーザー数は順調に成長を継続



※ UU：各四半期における、弊社教育メディアの月間ユーザーの平均数値

第2四半期時点で金融メディアサービスを終了させたことに伴い、計画通りの減少順調に教育メディアサービスへ人員の移行を進行

(百万円)



※ その他サービスとは、金融メディアサービス及びコンサルティングサービスを指しています。

※ 2017年10月期よりコンサルティングサービスの一部売上高を純額表示に変更したため、2016年10月期よりデータを記載しています。

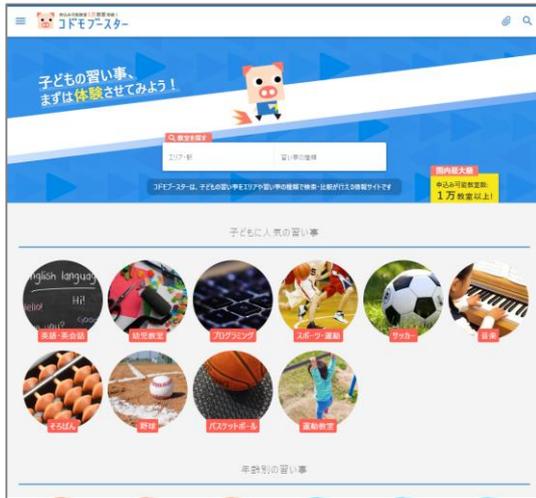
2019年9月6日に、子供向け習い事情報ポータルサイト「コドモブースター」、子育て情報ポータルサイト「コモリブ」を運営する株式会社センジュを子会社化

※ 本件による2019年10月期の業績への影響は軽微と見込んでおります。



申込み可能教室**1万**教室突破！

コドモブースター



- ・ 未就学児～小学生の年代、習い事領域、幼児教育領域への事業展開を強化
- ・ 「塾ナビ」と顧客基盤の重複が少ないため、相互に顧客を紹介することで掲載教室数を増加し、更なる業績拡大を見込む



※1：矢野経済研究所「教育産業白書 2018年版」

※2：文部科学省「子どもの学校外での学習活動に関する実態調査報告 平成20年8月」より算出

本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。